

ルシート防水工事

施工要領書

K S - B 1 工 法
(山留め面先やり防水工法)

株式会社 総建社

〒 130-0013
東京都墨田区錦糸4-10-2
TEL 03-6685-8510
FAX 03-6685-8512

OKS-B1工法（山留め面先やり防水工法）

○適用条件

本工法は、矢板による山留め面に直接Vシート防水を施工する、地下室用先やり防水工法です。
適用する下地はH鋼と横矢板を用いた山留め面となります。

1. 下地条件

KS-B1工法は、山留め面への直接施工を可能とした先やり防水工法ですが、下地の状態に関しては以下の点にご注意下さい。

- (1) 矢板はぐらつかない様しっかりと固定し、段差が出来たり、目地が大きく開かない様に揃えて下さい。
- (2) 防水層を貫通する役物は使用しないのが理想ですが、やむを得ず配管類を貫通させる場合は充分な強度を持ったものを使用し、堅固に固定して下さい。
肉薄の塩ビ管や電配用コルゲート管には必ず充分な強度を持ったサヤ管を使用し、堅固に固定して下さい。
- (3) 下地表面に著しい泥汚れや油脂の付着がある場合は除去して下さい。

2. 下地点検、清掃及び調整

防水工事の施工に入る前に、前記作業が適切に行われているかを確認・点検します。
H鋼や矢板等の下地表面に付着したモルタルやコンクリート・泥等の軽微な汚れを取り除き、清掃を行います。

3. 施工

(1) 下地処理

①塗膜防水材による役物及び下地の処理

H鋼・矢板表面に塗膜防水材を塗布します。
役物がある場合には同時に補強塗りを行います。

使用法は下記の通りです。樹脂9kg:パウダ-7kgの割合でハンドミキサーなどで良く混練し
適量の水を加えて粘度を調整して使用材とします。塗布量は0.4kg/m²です。

②プライマー塗布

塗膜防水材で処理する必要のない下地（モルタルにより調整済みの下地やコンクリート面、床面施工箇所の捨てコン表面など）の表面にプライマーを塗布します。

塗膜防水材で処理した下地にはプライマーの塗布は不要です。

通常の下地に於いては以下の通り使用します。

・立上り

Vシートプライマー原液1:水2にて希釈し、1回塗りとします。
下地の吸水が激しい場合は、乾燥後塗り重ねます。

・床面

▽シートプライマー原液1:水3にて希釈し、2回塗りとします。
下地の吸水が激しい場合は、乾燥後塗り重ねます。

(2)シート施工

①▽シートポリマーセメントペースト（以下VPセメントペースト）の調合

・配合

ポルトランドセメント1袋（25kg）：水9～12㍑：▽シートプライマー原液0.7kg

・調合手順

調合容器に、セメント1袋当たり8～9㍑の水を入れ、▽シートプライマー原液0.7kgを加えます。

ハンドミキサー等で攪拌しながらセメントを投入し、ダマが無くなるまで充分に攪拌します。
その後3～4分放置します。（締まって硬くなる）

再度適量の水を加えて攪拌し、適度な硬さに調整して使用材とします。

※冬季において気温が5℃以下になると予想される場合は防凍剤を使用します。

②▽シート施工

・立上り

VPセメントペーストを施工面に金ゴテで厚み4mm程度に塗りつけます。

▽シートを貼り付け、エア抜きブラシ又は手で▽シートとVPセメントペースト間のエアを抜きます。

その際にエアと一緒にVPセメントペーストが適量はみ出るようになしながら抜いて行きます。
はみ出たVPセメントペーストはコテで均しておきます。

▽シート同士のジョイントは、幅150mm以上でオーバーラップさせ、VPセメントペーストで貼り合わせます。

立ち上がりのシート貼りの作業中、役物・出隅隅角部等必要箇所には補強貼りを行います。（収まり図等詳細はKS-A1工法の施工要領書をご参照下さい。）

・床面

通常は切り付け部から500mm巾で床面捨てコン上に貼り返します。

施工面にVPセメントペーストを金ゴテで厚み4mm程度に均します。

▽シートを貼り付け、エア抜きブラシ又は手でエアを抜いて行きます。

この際も適量のVPセメントペーストがエアと一緒にはみ出す様にしながら抜いて行きます。

▽シート同士のジョイントは立ち上がりと同様とします。

③軽保護層施工

・立上り

下地処理の際と同様に塗膜防水材を調合し、ローラー等を使用して▽シート表面に塗布します。塗布量は0.5kg/m²です。

・床面

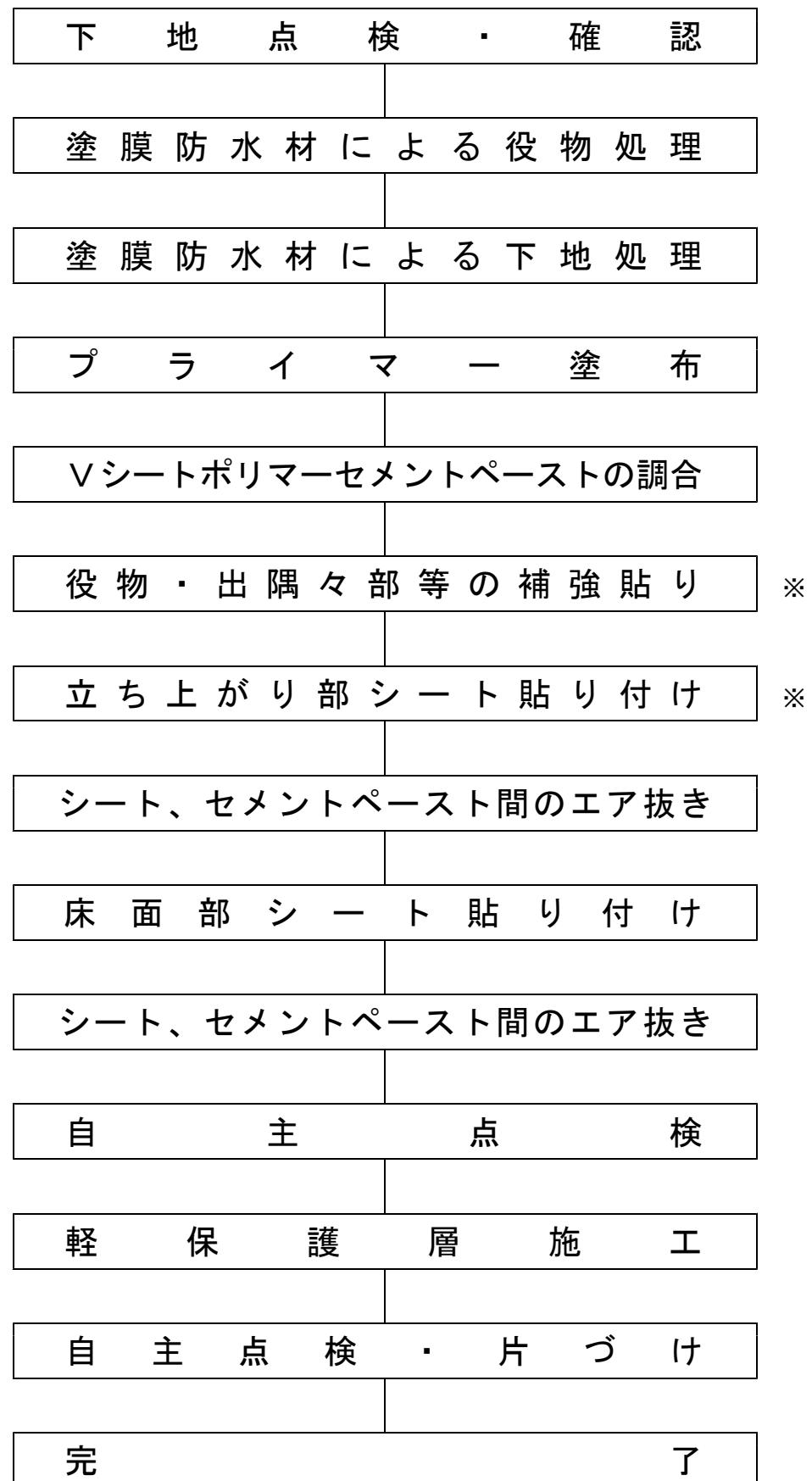
市販のプレミックス軽量モルタルを、メーカーの指示通りに水を加えて混練し、▽シート表面に10mm厚程度に塗り付けます。

3. 施行後の注意事項

- ・Vシートの施工後は、12時間以上（冬季防凍剤使用）の硬化養生期間を置いて下さい。
- ・その間は立入り禁止とし、絶対にシートの上を歩いたり、物を乗せたりしないで下さい。
- ・養生期間経過後も、保護層の施工が完了するまでは立入り禁止とし、重量物や鋭利な物、資機材等を置かないで下さい。
- ・配筋の際に鉄筋の先端で引っ搔いたり、ぶつけたりしない様に注意して下さい。
- ・防水工事完了後にH鋼の高さを揃える等の作業でアセチレンバーナーを使う場合はVシートの溶解・着火等にご注意下さい。
- ・モルタル、コンクリート打設時にスコップ等でVシート表面をこすったり、つづいたりしないで下さい。
- ・これらの他にも、Vシートを傷付ける様な行為は厳禁です。

★Vシートを傷付けると漏水事故につながる可能性がありますから充分な注意が必要です。

○ Vシート湿式防水KS-B1工法施工フローチャート



※ 補強貼りと立ち上がり部のシート貼りは作業の流れにより順序が前後します。

○資料のページ (標準工法の施工要領書より抜粋)

1. 材料について

① 使用材料一覧

品名	商品名	規格・容量	メーク
普通ポルトランドセメント ^{※1}		25kg袋	市販品
プレミックス軽量モルタル ^{※1}		25kg袋	市販品
プライマー	Vシートプライマー	18kg缶	ケイエス防水工業(株)
塗膜防水材 ^{※2}	セラミテックスコート	18kg缶・14kg箱	ベスト合成化学工業(株)
	レインガード	18kg缶・14kg箱	高圧ガス工業(株)
防水シート	Vシート	1,000mm巾×50m巻	ケイエス防水工業(株)

※1 セメント・軽量モルタルについては建設会社様からの支給をお願いしております。

(その方が単価が安い為)

セメント1袋(25kg)当たりの施工量は、通常約6m²となります。

施工総面積100m²の場合の必要量は100÷6=16.6で17袋となります。(端数切上げ、状況により増減あり)

※2 セラミテックスコート・レインガードのどちらかを使用(何れも同等品)

② 配合と使用量

・ プライマー

Vシートプライマー原液 1kg : 水 2 ~ 3kg 塗布量 0.2 kg/m²

・ 塗膜防水材(下地処理)

樹脂 9kg : パウダー 7kg : 水 0 ~ 2kg 塗布量 0.4 kg/m²

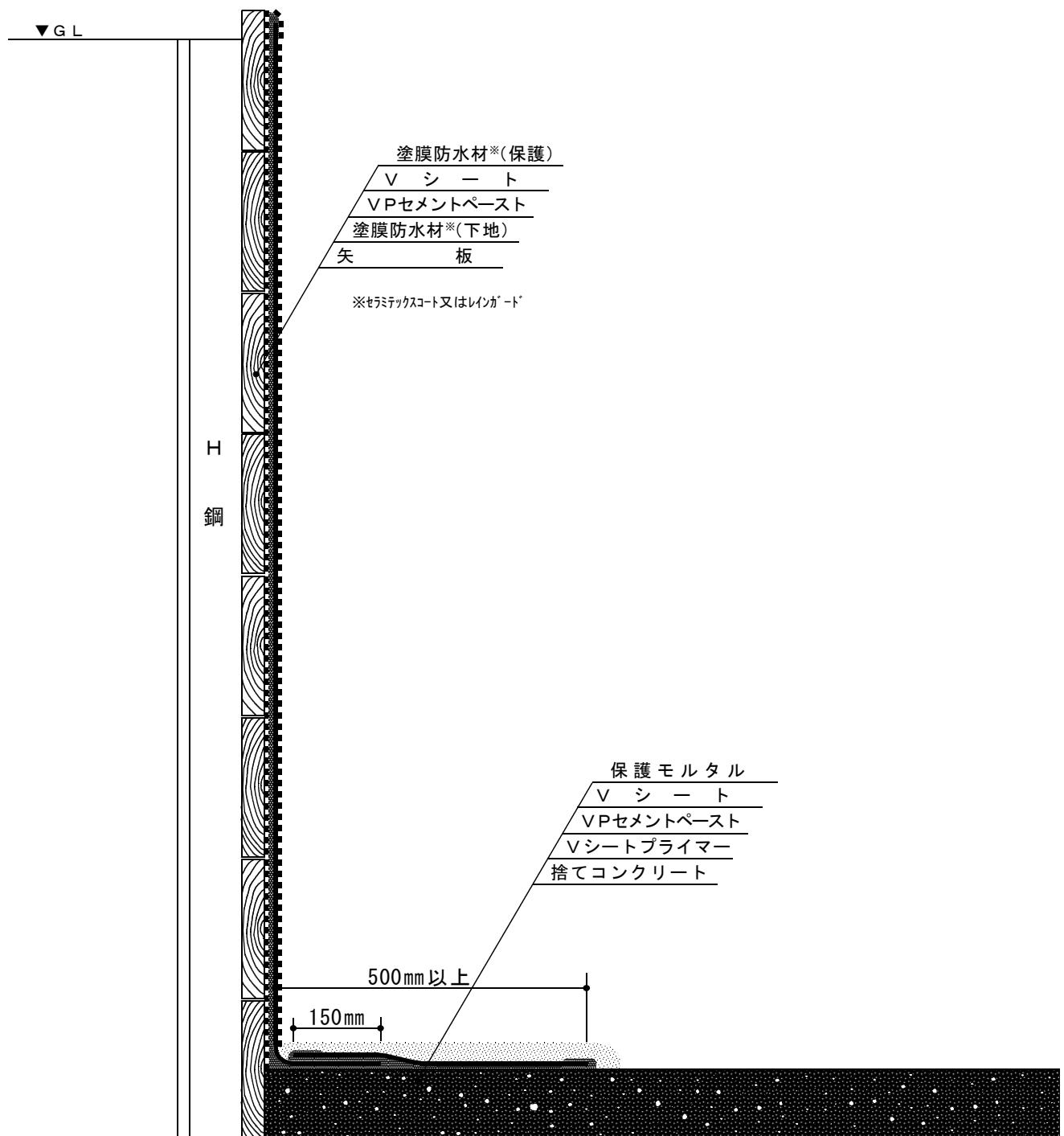
・ 塗膜防水材(保護層)

樹脂 9kg : パウダー 7kg : 水 0 ~ 2kg 塗布量 0.5 kg/m²

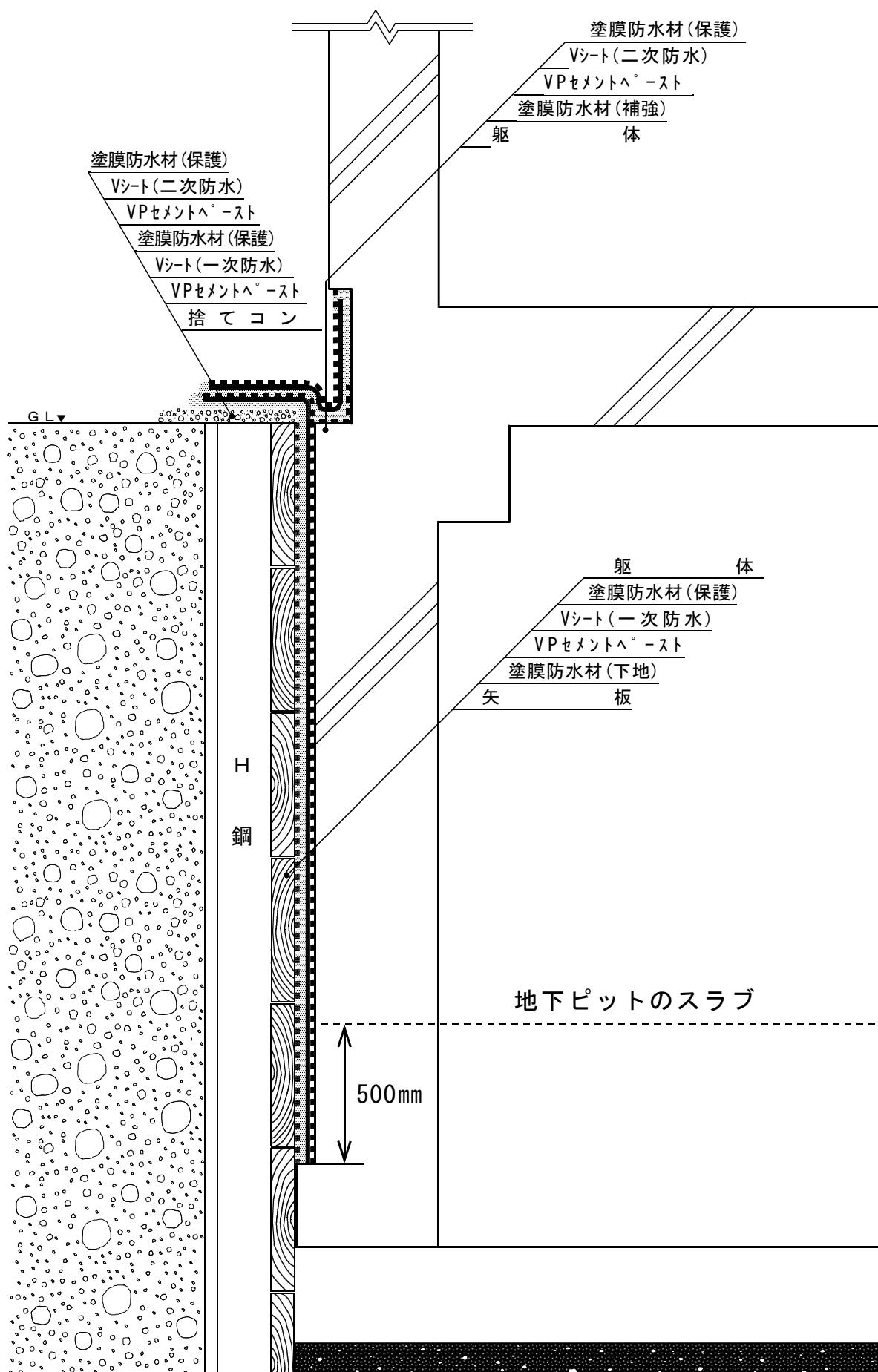
・ Vシートポリマーセメントペースト

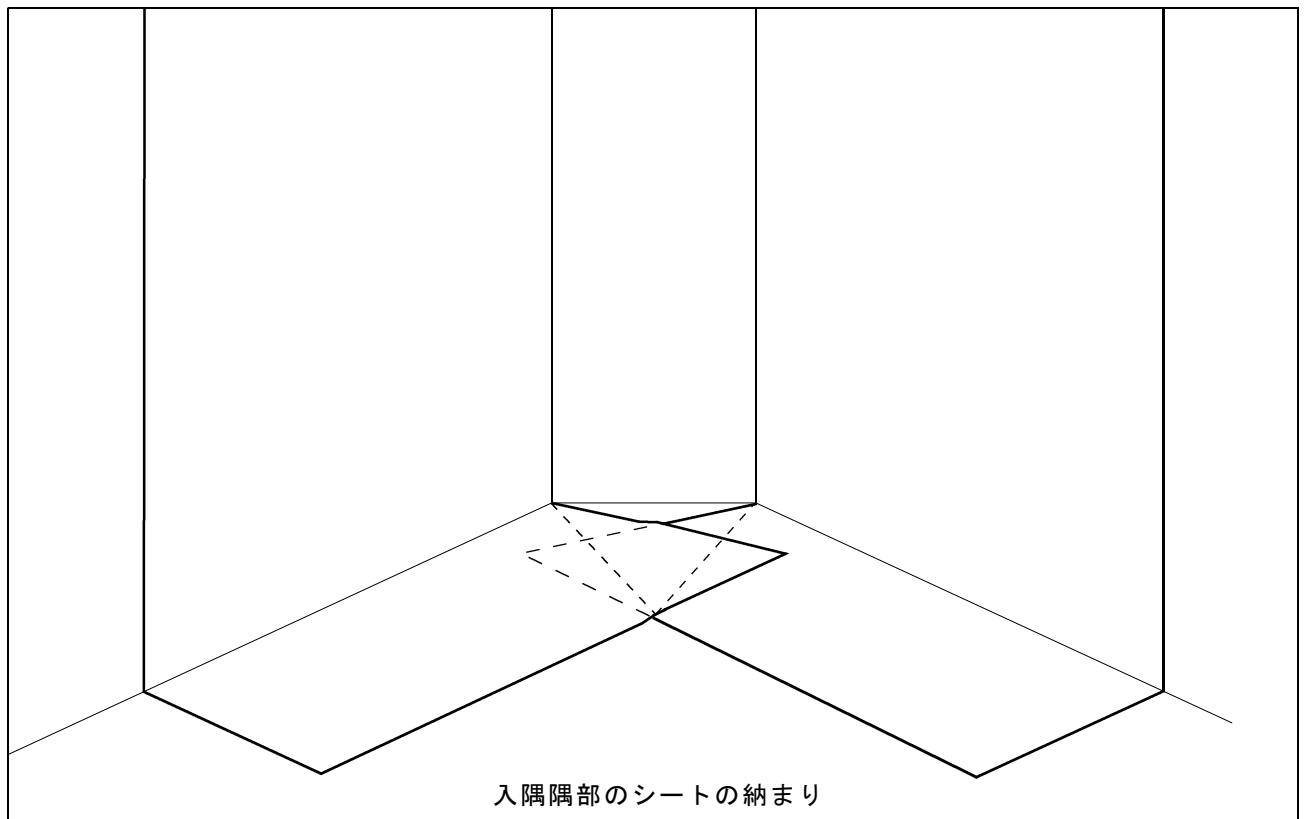
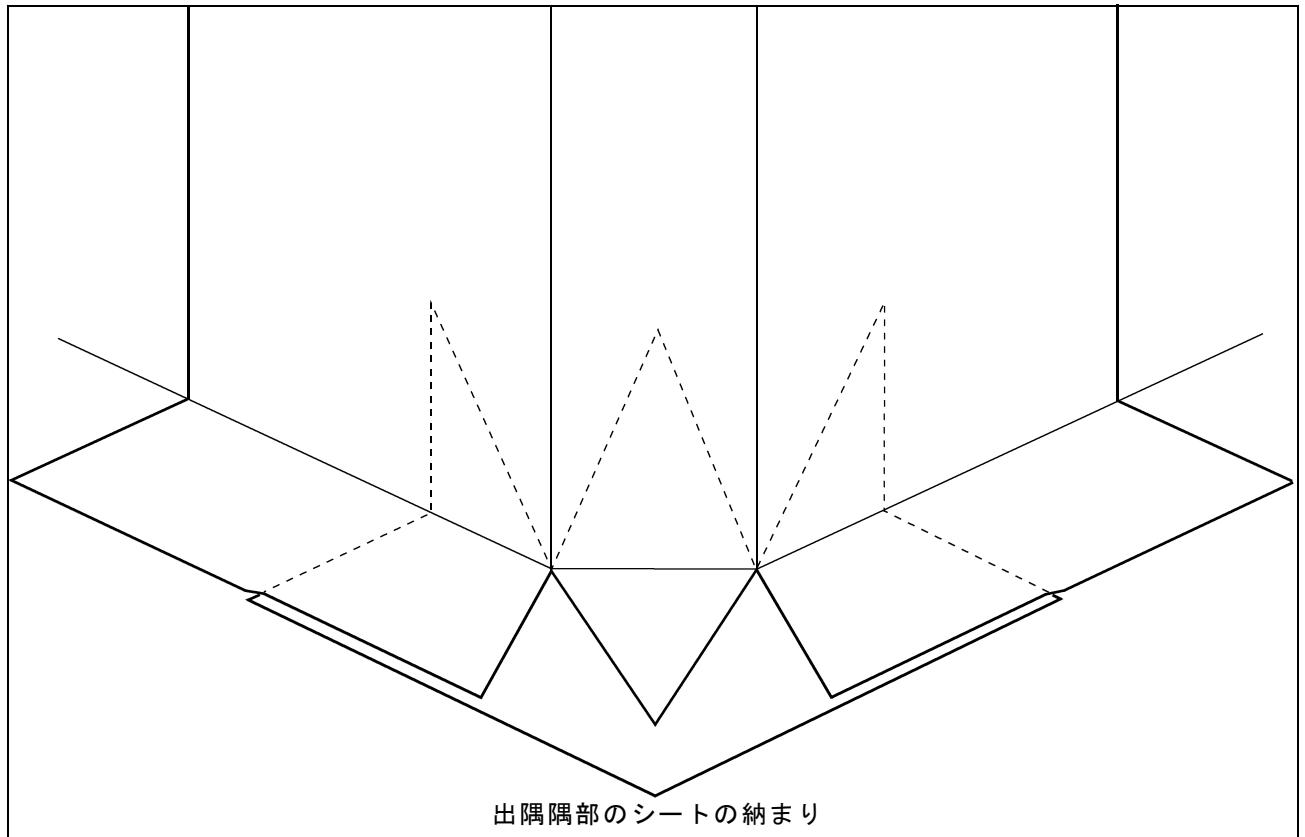
セメント 25kg : 水 9 ~ 12 ツル : Vシートプライマー原液 0.7kg 塗布量 6.0 kg/m²

○矢板防水断面図 (Vシート防水 KS-B1工法)

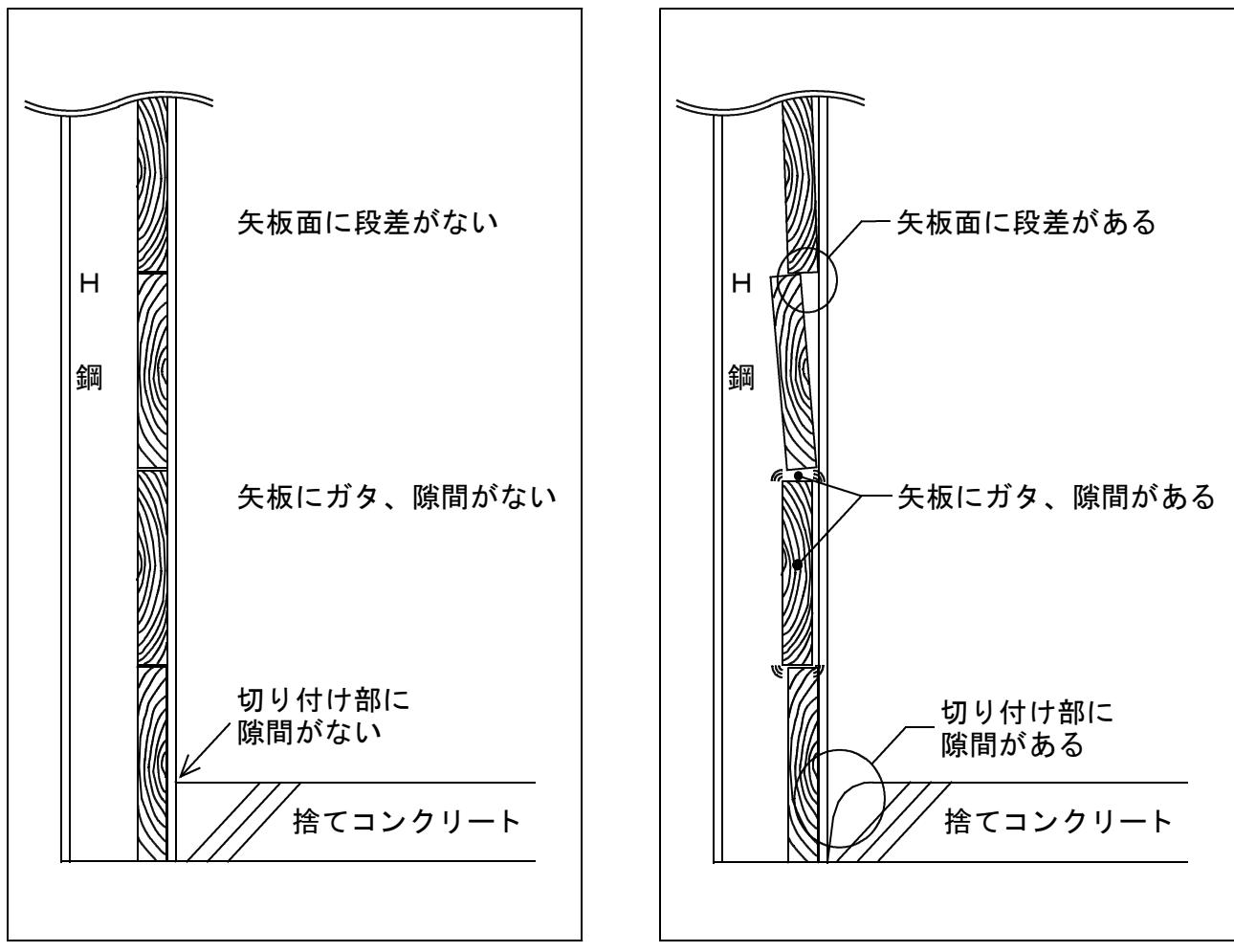


KS-B1工法施工図



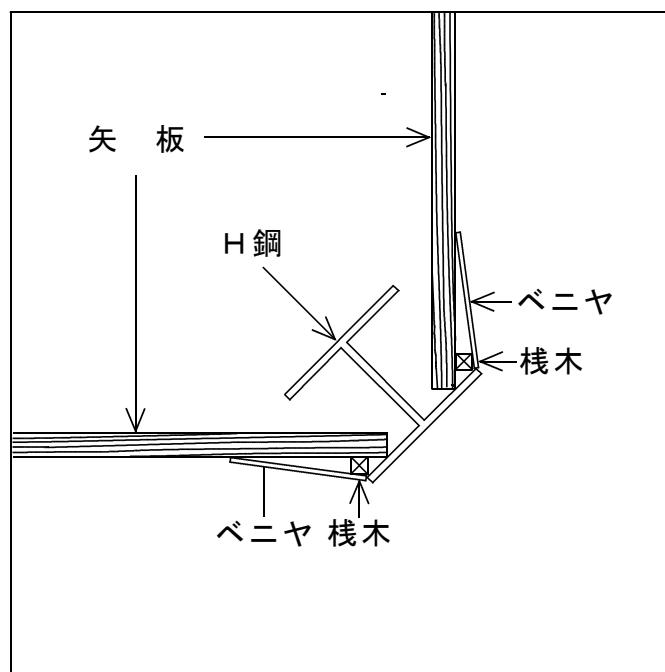


○下地注意事項



良い例

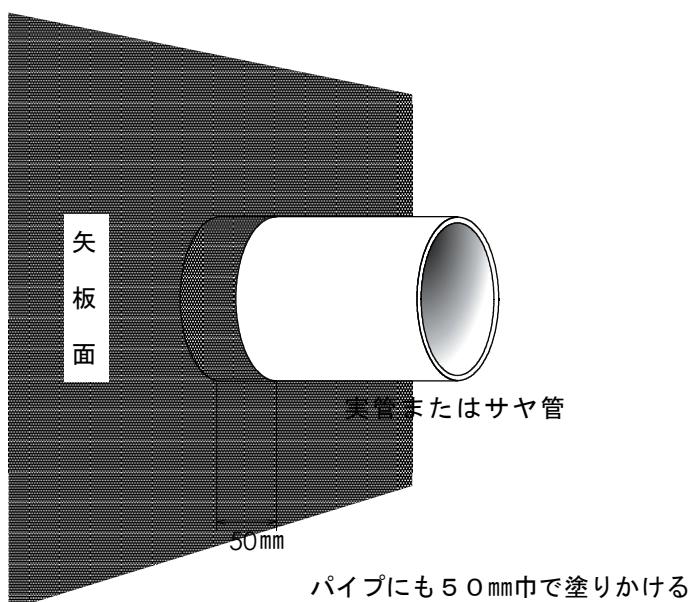
悪い例



出隅部分の段差の処理

立ち上がり面のパイプの補助貼り

①塗膜防水材による補強貼り



②Vシートによる補助貼り

